

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	1311006100044
施設名	アソシエ都立大学保育園
施設所在地	目黒区平町1-19-14
法人名	アソシエ・インターナショナル

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

木

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日頃から戸外活動を通して、桜の木の観察や枝に興味を持っている姿があり、室内活動においても持ち帰った自然物を活用した製作も取り組んでいる。園児や職員にとって身近な素材である木をテーマにした。

## 2. 活動スケジュール

- ・11月に木の端材を入手し、保育室に玩具として設置し園児の行動観察を行う。
- ・12月に『東京・森と市庭』に協力していただき、(木)育活動を行う。
- ・以降は残りの端材やかんなくずを保育活動に取り入れ継続的に研究していく。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

『準備物』かんなくずプール、木の端材、ポスカ、木工用ボンド

『環境設定』日頃の保育の中で取り入れる場合は、少量ずつを各保育に設置

園全体で取り組んだ日(12月24日)は2階にかんなくずプール、3階は端材工房にし園児が行き来しながら取り組んだ

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・乳児組は薄い丸太を玩具として使い、12月24日にはかんなくずプールを体験した
- ・幼児組は少量の端材を組み合わせて遊び、12月24日には大量の端材を利用して創作活動を行った

※12月24日の全体活動後は日頃の保育で端材を玩具として使用した

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

木材に触れる経験がなく、紙やすりでこすることも初めての経験だった為、端材を組み合わせるよりもやすりをかけることに夢中になっていた。出来上がりを想像しながら取り組んでいる姿や組み合わせながら何を作るかを考えている姿が見られた。なかなか思うように作れないことを保育者に相談していた。一緒に考え、森と市庭の方にも知恵を借りながら、想像に近い作品が出来上がるように工夫していた。

かんなくずプールを設置していた保育室に入ると、ひのきの香りが充満しており、香りを言葉で表現していた。中に入ることにより香りが強くなることを発見しており、保育者も一緒に参加することで、子ども達の発見に共感していた。

薄い丸太が並べて池や上を渡る、積み重ねるなど乳児でも主体的に遊べ、子ども達の発想に合わせて保育者が発展させていった。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

初めての(木)育活動で『森と市庭』の方にもご協力いただいたことで、子ども達の発想をどういった手だてで実現すれば良いのか学ぶこともできた。継続的に同じ活動に取り組むことが日頃あまりなかったので良い機会となった。3ヶ月かけて同じ素材を活用したことで子ども達の興味関心も深まり、そこに保育者がどう関わっていくかで育ちの姿も変化していくことにも気付いた。木をテーマにしたので、0歳児から5歳児まで年齢に合わせた活動を展開するにも容易にできた。振り返りの中でも、担当している年齢に合わせた子ども達の気づきを共有することができた。